

2019年は、三・一運動と五・四運動から100年にあたる記念すべき年です。韓国・中国の教師たちと授業実践交流の活動を進めてきた私たち歴史教育者協議会・日韓交流委員会と日中交流委員会は、下記のようなシンポジウムを共催で開催することにしました。

1982年から2012年まで、30年にわたって活動を続けた比較史・比較歴史教育研究会は、自国史と世界史をめぐる国際対話に取り組みました。私たちは、その歩みと研究・教育の成果に学びながら、昨今の東アジアの情勢を見すえつつ教育実践の方向を国境を越えて模索する場にしたいと考えています。

## タイムテーブル

〈第1部〉 シンポジウム 13:00~18:00

□基調報告 齋藤一晴(日本福祉大学)

□授業実践報告

・中学生と学んだ三・一運動

小林優香(日本・法政大中高)

・韓国の子どもたちは三・一運動をどう学んだか

朴範羲(パクポミ・韓国・中央高校)

・五・四運動をどう教えているか —南京第一中学での授業から—

蒯泓(カイホウ・中国・南京市第一中学)

・五・四運動で学生たちが求めたものは何か

久木山咲(日本・大妻中野中高)

〈第2部〉 レセプション 18:30~20:30

## 参加費

シンポジウム 1000円(学生・U25会員は500円)

レセプション 4000円(学生・U25会員は2000円)

## 主催

一般社団法人 歴史教育者協議会

TEL 03-3947-5701

Email jimukyoku@rekkyo.org



南京市第一中学(左)・

濟州島(下)での交流授業



# 東アジア歴史教育シンポジウム 三・一運動、五・四運動を学び合う

2019年11月30日(土) 13:00~

明治大学研究棟4階第1会議室  
(神田駿河台キャンパス・JR御茶ノ水駅下車)